

主題：ヨベル

メッセージ 13

ヨベルとしてのキリストを享受して、今日のナジル人また予防を与える者となる——

神の選びの民を、イエスの証しのために

三一の神の永遠の祝福をもって祝福し、予防剤を注射する

聖書：民 6:1-9, 22-27. II テモテ 2:1-7, 15. 啓 1:2. 19:10

- I. 人類の間で唯一のナジル人は主イエスです。ですから、ナジル人は、人性の中で絶対的に神のために生きるキリストの予表です——ヨハネ 5:30. ピリピ 2:8. 参照、マタイ 11:28-30. エペソ 4:20-21. ヨハネ 6:57：
- A. 主イエスは彼の人の生活において、彼の生涯のすべての日々、バター（最も豊富な恵み）と蜜（最も甘い愛）を食べました。この御父の最も豊富な恵みと最も甘い愛は、彼が御父のみこころの良い事柄を選び、邪悪なものを拒絶することができるようにしました——イザヤ 7:14-15. マタイ 11:25-26. 14:22-23. 26:39. マルコ 1:35. ルカ 5:16。
- B. だれでも御父のみこころを選び、何かを放棄し、自分自身を否み、困難な事を選ぶことができるのは、彼の背後に、キリストを最も豊富な恵みと最も甘い愛として享受する偉大な、強化する力があるからです——ヨハネ 1:17. ローマ 5:17. II テモテ 2:1. II コリント 5:14-15. ガラテヤ 2:20. ローマ 8:37. 12:1-2。
- II. 神は、彼のすべての民がナジル人であることを願っています。ナジル人であるとは、絶対的に究極的に神に対して聖別され、分離されていること、すなわち、神以外の何ものためでもなく、彼の満足（イエスの証し）以外の何ものためでもないことです——民 6:1-2. 詩 73:25-26. 啓 1:2, 9-12. 19:10. 参照、民 2:2：
- A. ぶどう酒とその源に関する何ものをも避けることは、あらゆる種類の地上の享受と楽しみを避けることを表徴します——6:3-4. 参照、詩 104:15. 伝 10:19：
1. ナジル人は、完全に地上の楽しみの何ものからも分離されています——ルカ 2:46-49. II コリント 6:14-7:1. ヤコブ 4:4. I ヨハネ 2:15。
2. わたしたちはキリストを新しいぶどう酒（神の爽快にさせる命と元気づける愛）として、日ごとに享受しなければなりません。それは神に注ぎのささげ物として、彼の満足のために注ぎ出されることができるためです——マタイ 9:17. 雅 1:2. 4:10. 士 9:13. II テモテ 4:6. ピリピ 2:17。
- B. 頭を剃らないとは、主の頭首権と、神によって立てられたすべての代理権威を拒絶するのではなく、絶対的に服従することを表徴します——民 6:5. ローマ 13:1-2 前半. エペソ 5:21, 23. 6:1. ヘブル 13:17. I ペテロ 5:5：
1. 「万物は彼にあってまとまっています。そして御子は、召会であるからだのかしらはです……それは彼ご自身が、万物のうちで第一位となるためです」——コロサイ 1:17-18。
2. 「かしらに結び付いていないのです。この方から、からだ全体は、節と筋によつ

て豊かに供給され、結合され、神の増し加わりによって成長するのです」—— 2:19。

3. キリストで満たされるとは、服従で満たされ、服従する霊、立場、雰囲気、意図を持つことです。あなたがそのような人であるなら、あなたとあなたの前途には大きな祝福があるでしょう——ピリピ 2:8-9. エペソ 5:18-21。
 4. 主の頭首権の下にいることは、ある人、ある事、ある環境の下にいることさえ、大きな祝福です—— 3:1. 4:1. 6:20。
 5. 服従の中に力があります——士 16:17。
- C. 血縁者の死によって汚されないで、神への分離の中にとどまるとは、ナジル人が天然の愛情に打ち勝つことを表徴します——民 6:7 :
1. 神はわたしたちが天然の愛をもってではなく、わたしたちの愛としての彼をもって愛することを求めています——マタイ 12:48-50. ピリピ 2:21. I コリント 13:4-8, 13. II テモテ 1:7。
 2. パウロとバルナバの間の問題は、天然の関係を伴う天然の愛によってひき起こされました——使徒 15:35-39. コロサイ 4:10. 参照、レビ 2:11。
 3. わたしたちは自分自身を、わたしたちの天然の人とその天然の熱意、天然の愛情、天然の力、天然の能力のあらゆる者から分離する必要があります。それは、その霊によって生き、その霊によって歩き、その霊によって仕え、あらゆることを、わたしたちの霊の中のその霊によって行ない、神の唯一の証しとなるためです—— 10:1-11. ガラテヤ 5:25. ピリピ 3:3. ローマ 1:9. 8:4. ゼカリヤ 4:6。
- D. 死んだ人に近づかず、自分のそばにいる人の突然の死に汚されないとは、ナジル人が死から分離していることを表徴します——民 6:6-9 :
1. 神の目に最も憎むべき事は、死です——啓 3:1, 4. レビ 11:31。
 2. さまざまな種類の霊的死は、召会生活の中で神の民の間に広まっているかもしれません——野蛮な死（獣の死体）、柔和な死（家畜の死体）、こうかつな死（這うものの死体）—— 5:2. 参照、1 ヨハネ 5:16 前半。
 3. 死から救われるために、わたしたちは思いを霊に付け、わたしたちの霊に注意を払い、わたしたちの霊を顧み、わたしたちの霊を用いなければなりません——ローマ 8:6。
 4. 死から救われるために、わたしたちは「反・死」で満たされ、霊を活用して祈ることによって、命を与える霊としてのキリストで満たされなければなりません—— 11 節. エペソ 6:18。
 5. もし予期しない死で汚されるなら、自分を主に再び分離することによって、新しい献身を伴う新しい開始を持つ必要があります——民 6:9-14 前半. 参照、サムエル上 1:11. 2:11。

III. 今日のナジル人は今日の予防を与える者、召会の衰退に対して人を予防する者です—— II テモテ 2:1-7, 15 :

- A. 予防を与える者は教える者、神のエコノミーの教えをもって聖徒たちを牧養する者です。彼はまたキリスト・イエスの良い奉仕者であり、信仰の言葉で養われ、霊を活用して日ごとの生活の中で、召会生活のためにキリストを生きる者です—— 1-2 節. エペソ 4:11-12. I テモテ 4:6-7。

- B. 予防を与える者は兵士、この生活の事にかかわらない者です。それは、徴兵した者を喜ばせるためです——Ⅱテモテ 2:3-4, 4:7. Iテモテ 6:12。
- C. 予防を与える者は競技者、クリスチャンのレースを走って自分の行程を終え、神のエコノミーの唯一の務めにおける自分の務めを完全に達成し、キリストを賞として受ける者です——Ⅱテモテ 2:5, 4:5. Iコリント 9:24-27。
- D. 予防を与える者は農夫、神と共に、すべてに適合する命としてのキリストによって働き、命の種としてのキリストを人々の中にまいて、命の健康な言葉によって命の霊としてのキリストをもって、彼らに水を注ぐ者です——Ⅱテモテ 2:6, Iコリント 3:6, 9. IIコリント 6:1前半, 使徒 5:20, Iテモテ 6:3, テトス 2:7-8. 参照、Iテモテ 5:1-2, イザヤ 55:8-11。
- E. 予防を与える者は働き人、神の言葉をそのさまざまな部分において、正しく真つすぐ、曲がることなく開くことによって、真理の言葉を真つすぐに裁断する者です(大工仕事のように)。この真理の言葉は暗くされた人々を照らし、毒を予防し、死を飲み尽くし、そらされた者を正しい路線に連れ戻します——Ⅱテモテ 2:15. 参照、詩 119:130。
- IV. わたしたちがキリストをヨベルとして享受することは、今日のナジル人また予防を与える者となり、神の選びの民を、三一の神の永遠の祝福をもって祝福し、予防し、イエスの証しとなることができるためです——民 6:22-27. IIコリント 13:14. エペソ 1:3-23. 啓 22:1-2前半：
- A. 「エホバがあなたを祝福し、あなたを守られますように」——民 6:24：
1. 御父はわたしたちをあらゆる方法で、彼の愛におけるあらゆる面で祝福し、あらゆる方法で、彼の力におけるあらゆる面で守ります——エペソ 1:3. ヨハネ 10:28-30, 17:23, 6:37-39. Iペテロ 1:5。
 2. これは、分与する三一の神の中で絶対的に守られること、邪悪な者から完全に守られることです——ヨハネ 14:30, 17:11, 15。
- B. 「エホバが御顔をあなたに照らし、あなたに対して恵み深くありますように」——民 6:25：
1. ここの「御顔」という言葉は臨在を表徴します。御顔をわたしたちに照らす方として、御子キリストは三一の神の臨在です——マタイ 1:23. ルカ 1:78。
 2. 主がわたしたちに対して恵み深くあるとは、彼が絶えずわたしたちに恵みとなることを意味します——ヨハネ 1:17. ローマ 5:17, 21. ヘブル 4:16. IIコリント 12:9-10。
- C. 「エホバが御顔をあなたに上げ、あなたに平安を与えられますように」——民 6:26：
1. 顔は人の臨在を意味し、人の表現を意味します。顔を人に上げるとは、その人に確認し、確証し、約束し、あらゆるものを与えることを意味します——参照、エペソ 4:30。
 2. 三一の神がわたしたちの中に分与されるとき、わたしたちはキリストを三一の神の御顔として持ち、その霊を、わたしたちに平安を与える、上げられた御顔として持ちます。
- D. わたしたちは、手順を経て内側で循環する三一の神を享受し、彼をもって日ごとに

祝福されなければなりません。それは、わたしたちが彼を宇宙の唯一の祝福として人の中に分与し、神の心の願いを完成し、イエスの証し、イエスの団体の表現を持つためです——Ⅱコリント 13:14. ガラテヤ 3:14. 創 12:2. 啓 1:2, 9-12。

- E. 「ときどき、わたしたちが自分の状況を考えると、失望し、自分には何もないと感じるかもしれません。それはわたしたちにとって、太陽の下にあるすべてのもの、霊的な領域におけるすべてのものさえ、空の空であるかのようです。わたしたちは、召会生活の中にさえ、何も実際はないと感じます。このように感じるとき、どうすべきでしょうか？ わたしたちは三一の神に戻るべきです。彼はわたしたちの真の祝福と分け前です。彼を祝福として持つとは何という祝福でしょう！ 彼の御顔、彼の臨在を持って、彼を日ごとに恵みとして享受するとは何という祝福でしょう！ わたしたちは苦しみを受ければ受けるほど、ますます彼を恵みとして享受します。彼の御顔がわたしたちに微笑みかけて、わたしたちに保証し、確証するとは何という祝福でしょう！ 彼の中で、彼によって、彼と共に平安を持つとは何という祝福でしょう！ これはわたしたちの祝福としての三一の神です。ああ、キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがたすべてと共にありますように！」——民数記ライフスタディ、メッセージ 11。